

特許情報取得APIの試行提供について

2022年9月

特許庁 総務部 総務課 情報技術統括室



1

特許情報取得APIサービスの概要

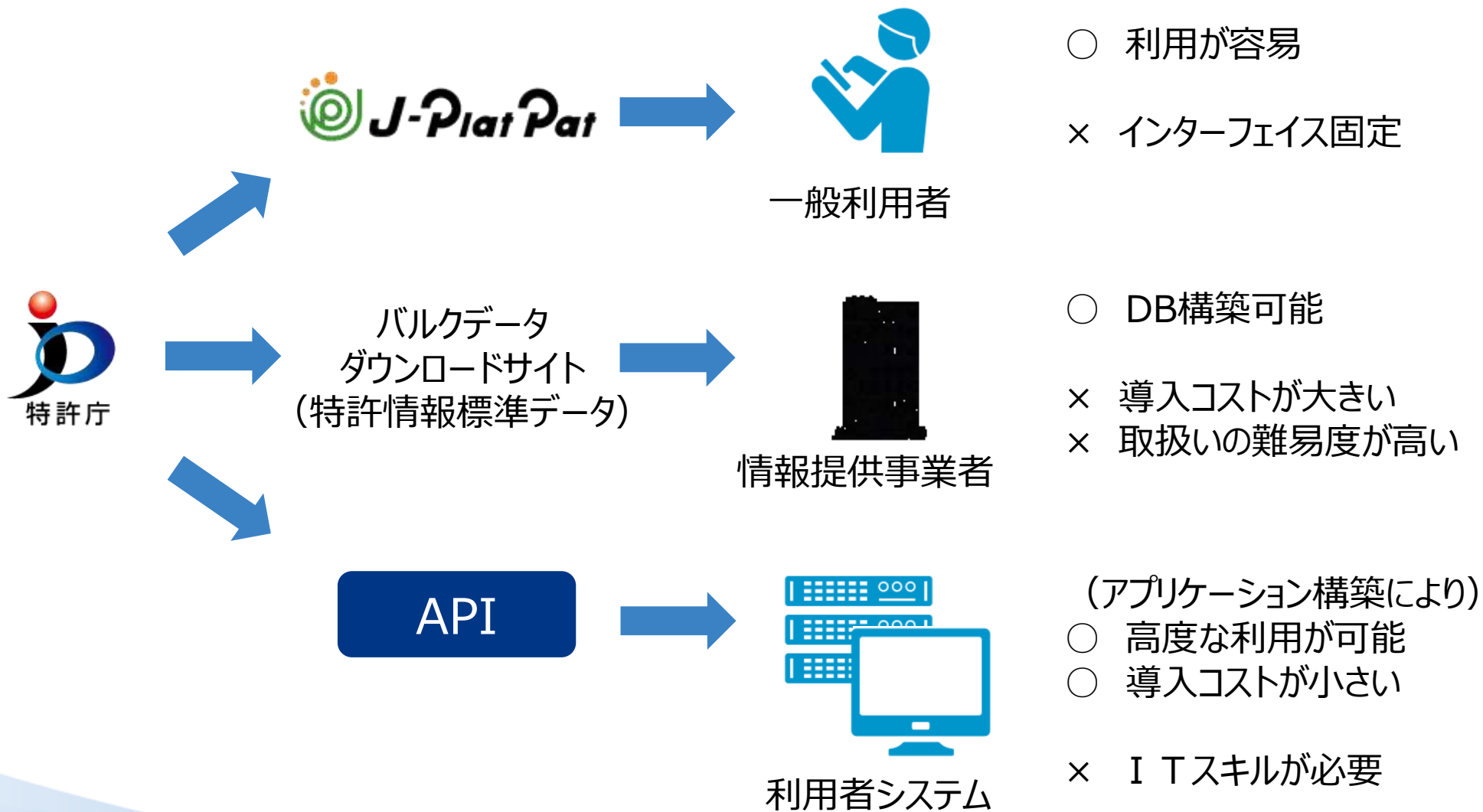
2

API利用のための手続

3

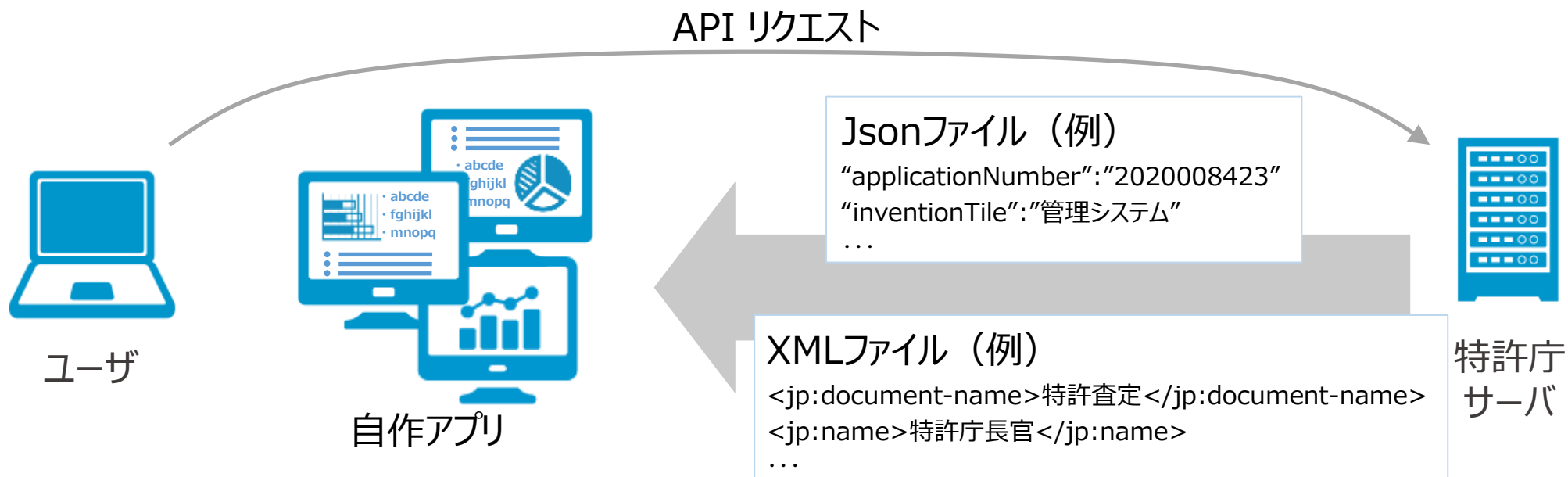
参考情報

特許情報取得APIサービスと既存サービスとの比較



APIの利用

利用者の自作アプリケーションでAPIから提供される特許情報データを柔軟に利用することが可能



自作アプリケーションでデータ処理

- ・自己出願の案件管理
- ・他者出願の監視
- ・書類のチェック、雛形の作成
- ・情報の分析 など

テキストデータを返却

機械処理しやすい構造化データ

- ・Jsonファイル
- ・XMLファイル

試行内容

- 2022年1月から試行提供を開始しています。
- 日本国内の特許出願に関する書誌情報、経過情報、書類等 (※1) をAPI(※2)で提供します。
- この試行は、APIの利用事例、ユーザーニーズ等を把握することを目的としています。
- 利用者には、利用状況に関するアンケート等への協力をお願いします。
- アクセス量に制限があります。
- 国内外の法人又は個人に提供します。利用には利用者登録が必要です。
- 利用者数が所定数を超過した場合には、新規の利用者登録を終了する場合があります。
- 2021年12月に実施した説明会では、「試行期間は未定ですが、少なくとも1年は継続します。」としていましたが、今後、継続して提供していくこととします。

(※1) 未公開の出願に関する情報は提供しません。(※2) Rest API形式。

特許情報取得API各種の概要

	名称	APIの概要とアクセス上限（／日）		ファイル形式
1	特許経過情報	出願番号に基づき経過情報の一覧を取得	400	JSON形式
2	シンプル版特許経過情報	1の簡易版（優先権情報、分割情報を含まない）	400	JSON形式
3	特許分割出願情報	出願番号に基づき分割出願情報を取得	30	JSON形式
4	特許優先基礎出願情報	出願番号に基づき優先基礎出願情報を取得	30	JSON形式
5	特許申請人氏名・名称	申請人コードに基づき申請人氏名・名称を取得	200	JSON形式
6	特許申請人コード	申請人氏名・名称に基づき申請人コードを取得	200	JSON形式
7	特許番号参照	出願/公開/登録番号に基づき相互に番号を取得	50	JSON形式
8	特許申請書類	出願番号に基づき特許申請書類の実体を取得	100	XML形式 (Zipファイル内)
9	特許発送書類	出願番号に基づき特許発送書類の実体を取得	100	XML形式 (Zipファイル内)
10	特許拒絶理由通知書	出願番号に基づき拒絶理由通知書を取得	100	XML形式 (Zipファイル内)
11	特許引用文献情報	出願番号に基づき拒絶理由の引用文献情報を取得	50	JSON形式
12	特許登録情報	出願番号に基づき登録情報を取得	200	JSON形式

特許情報取得APIの稼働時間、蓄積範囲、更新について

- 特許情報提供APIは、原則として、24時間365日利用可能です。
※ただし、サーバメンテナンス等により、一時的に利用できなくなる場合があります。
- 電子出願の受付を開始した2003年7月以降の特許出願に関する情報を提供します。
(一部のAPIではそれ以前の情報も取得可能。ただし、不完全な情報の場合あり。)
- 情報は日次で更新されます。

1 特許情報取得APIサービスの概要

2 API利用のための手続

3 参考情報

利用までの流れ

①利用申込み

- ・利用規約への同意、利用申込書の提出が必要です。



②利用者確認

- ・特許庁職員から利用者の確認を行います。



③ID・パスワードの送付

- ・各法人に対して1つのIDが付与されます。



④APIの利用開始

- ・ID・パスワードによる認証
(アクセストークンの取得) が必要です。

利用申込みの手続について

- 利用者登録には利用申込書の提出が必要です。
 - 利用申込書には、所定事項を記入してください。
 - 法人名・担当者名等の必須情報を記入
 - 利用規約を確認の上「同意する」にチェック
 - 希望するIDがある場合はお知らせください
 - 特許庁担当者からの問合せに対応してください。
 - 本人確認後にID・パスワードが送付されます。
- ID・パスワードは、後述の認証手続で必要となります。

詳細は、「利用の手引き」をご参照ください。
<https://ip-data.jpo.go.jp/pages/top.html#>

特許情報取得 API 利用申込書（法人用）

利用の手引きの3.（2）に記載の「利用申込書の作成」を参照してください。

申込日	令和 年 月 日	
利用規約への同意	<input type="checkbox"/> 同意する ※チェックしてください	
法人情報 (利用者情報)	住 所	
	名 称	
担当者1	所 属 部 署	
	役 職	
	氏 名	
	メールアドレス	
担当者2 (任意)	電 話 番 号	
	所 属 部 署	
	役 職	
	氏 名	
担当者3 (任意)	メールアドレス	
	電 話 番 号	
	所 属 部 署	
	役 職	
利用者3 (任意)	氏 名	
	メールアドレス	
	電 話 番 号	
	利用目的	
ID (任意)		
アクセス上限 変更希望	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※いずれかにチェックしてください (上限変更を求める合理的な事情)	
	* アクセス上限の変更を希望する API の番号 * ※情報提供事業者向けのアクセス上限変更を希望する場合、特許情報の一括ダウンロードサービスの ID 及び実施している情報提供サービスを記入してください 特許情報の一括ダウンロードサービスの ID : 情報提供サービスの紹介ページの URL 等 :	

認証の手順について (アクセストークンの取得～APIへのアクセス)

```
1 POST / (特許庁から連絡があったHost以降のトークン取得パス) HTTP/1.1
2 Host: https://ip-data.jpo.go.jp
3 Content-Type: application/x-www-form-urlencoded
4
5 grant_type=password&username=api_user1&password=api_user1
```

(1) ID・パスワードをhttpのBodyに設定し、サイトにアクセス

```
1 {
2   "access_token": "eyJhbGciOiJIUzI1NiIsInR5cCI6Ikpz..."
3   "expires_in": 3600,
4   "refresh_expires_in": 28800,
5   "refresh_token": "eyJhbGciOiJIUzI1NiIsInR5cCI6Ikpz..."
6   "token_type": "bearer",
```

(2) アクセストークン、リフレッシュトークンを取得

```
1 GET /api/patent/v1/app_progress/2016045210 HTTP/1.1
2 Host: https://ip-data.jpo.go.jp
3 Authorization: Bearer eyJhbGciOiJIUzI1NiIsInR5cCI6Ikpz...
```

Authorization:
Bearer アクセストークン
半角スペース

(3) ヘッダにアクセストークンを設定し、APIにアクセス可能

(4) アクセストークンが有効なものであればAPI情報のレスポンスあり

利用者
システム

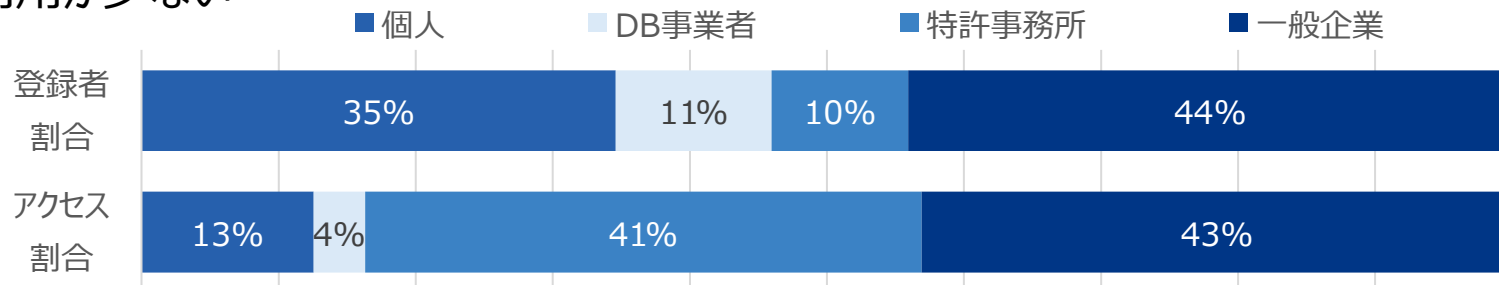
特許庁
API
システム

IDの付与とアクセス数上限の設定について

- IDは、法人ごとに1つ（個人事業の場合は、個人に1つ）付与します。
※親・子会社、関連会社、グループ会社は、それぞれ1つのIDを取得可能。
- 当該IDごと・APIの種類ごとに1日当たりのアクセス数上限が設定されています。
- APIの種類ごとの1日のアクセス数が上限に達すると、翌日まで当該APIの利用はできません。
- 合理的な事情を有する場合（※1）には、申請により、アクセス数上限を2倍を限度に変更することができます（※2）（※3）。
 - （※1）例・・・管理している案件数が多いため、設定されたアクセス数上限では不足する
 - （※2）原則3つのAPIまで
 - （※3）特定の条件を満たす情報提供事業者は更なるアクセス数上限の変更が可能
- IDごとのアクセス数上限の他に、API利用者全体でのアクセス制限もあります。
（利用者全体のアクセスが集中した場合エラーとなります）
→各IDからの1分間当たりのアクセス数が10以下となるよう調整が必要です。

特許情報取得APIの利用状況と利用条件の変更

- DB事業者の利用が少ない



- 書類実体取得用のAPIのアクセス上限を条件付きで変更

バルクデータで提供されていない
書類実体に対象を絞り、
特定の条件下で制限緩和

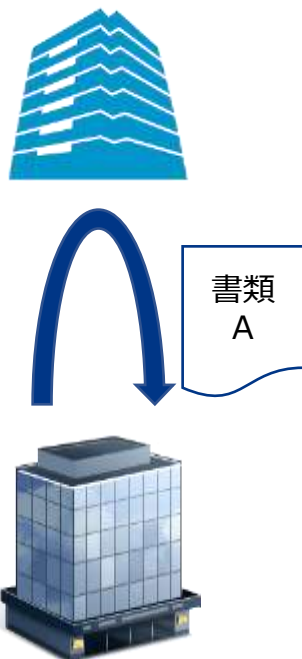
名称	ファイル形式	アクセス上限 (回/日)
特許申請書類	XML形式 (Zipファイル内)	100 → 500
特許発送書類	XML形式 (Zipファイル内)	100 → 500
特許拒絶理由通知書	XML形式 (Zipファイル内)	100 → 500

<条件>

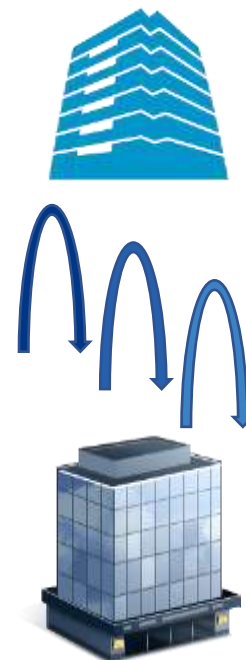
- バルクデータでデータベースを構築して一般向けにサービスを提供すること
- 特許情報取得APIへのアクセス集中緩和に協力できること
(キャッシュ機能等によりAPIへのアクセス量をコントロールできること)
- 特許庁に対してAPIサービスの利用状況を提供できること

DB事業者による特許情報取得APIの利用イメージ

特許庁



特許庁

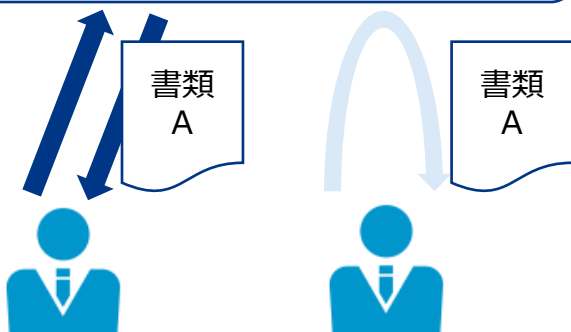


A→C→Dの順に取得
(平行要求禁止)

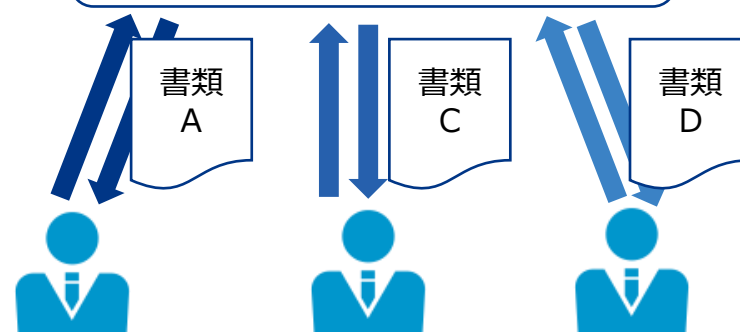
DB事業者

DB事業者

同一書類のリクエストには
キャッシュで対応



複数の同時リクエストには
待機機能で対応



特許庁

利用者A

利用者B

利用者A

利用者C

利用者D

1 特許情報取得APIサービスの概要

2 API利用のための手続

3 参考情報

API情報提供サイトについて

特許情報取得APIに関する仕様、お知らせ等の各種情報を提供します。

→ <https://ip-data.jpo.go.jp/pages/top.html>



[お知らせ](#) [仕様書](#) [利用規約](#) [利用の手引き](#) [説明会資料](#) [FAQ](#)

API仕様書

ステータスコード一覧

XMLタグ構造仕様書

■ 掲載情報

- 利用規約（利用にあたっての同意事項）
- 利用の手引き（利用の際の約束事、利用方法など）
- API仕様書（12種類の各APIの仕様）
- XMLタグ構造仕様書（書類取得APIで返却されるXMLデータの仕様）

その他、返却されるステータスコードの説明、お知らせ、FAQも掲載

APIサンプル

- 例：申請人コードを取得したい。

利用API：特許申請人コード取得API

```
HTTP 200 OK
Allow: GET, HEAD, OPTIONS
Content-Type: application/json
Vary: Accept

{
  "result": {
    "statusCode": "100",
    "errorMessage": "",
    "remainAccessCount": "999",
    "data": {
      "applicantAttorney": [
        {
          "applicantAttorneyCd": "718000266",
          "name": "特許庁長官"
        }
      ]
    }
  }
}
```

/applicant_attorney/{申請人氏名・名称}の

{申請人氏名・名称}の部分に「特許庁長官」と入力してリクエストすると、

氏名・名称が完全一致した場合に、申請人（出願人・代理人）コードが取得できます。

← 取得された申請人コード

ありがとうございました

特許庁総務課情報技術統括室

